

季刊紙

Vol.9

安川健人

Think Globally,
Act Locally

「地球規模で考え
地域から行動する」
横須賀から日本を変えていこう！

6 月定例議会（5/30～6/13）を終えて

- ＊ 今年度は「都市整備常任委員会」に所属します
- ＊ 6/2 本会議にて一般質問を行いました

1. 移住・定住促進政策について

- ・アーティスト村の現状と今後の課題について
- ・天空の廃墟「田浦月見台住宅」のリノベーションについて
- ・アイレットハウスの導入検討について

2. 津久井浜の「万台会館」の今後について

万台順四郎氏とゆかりの深い青山学院大学との万台会館の今後に関する意見交換について

3. 長坂緑地の整備促進について

富良野自然塾「地球の道」のような体験型自然教育の導入について

4. エンターテインメントの重要性について

現代社会において分断が進み、弱い立場の人々が攻撃の対象となるような風潮がある中で、「普段は何の役にも立たないように見えるエンターテインメントこそが、楽しめる社会を支える大きな力になるのではないか」と経済アナリスト・故・森永卓郎さんが生前最後に出演された番組で語っておられ、私も共感致しました。

日々の生活の中に楽しみがあること。楽しみが提供できるまちづくりについて質問しました。



安川健人（やすかわ けんと）

神奈川維新の会 副代表
会派 日本維新の会 団長
環境教育常任委員会委員
スポーツ振興検討協議会委員
議会基本条例検証特別委員会委員
議会制度検討会議オブザーバー
浦賀在住 家族は妻と猫♀
明治大学大学院修了（公共政策修士）
元・鎌倉市議会議員 俳優/シェフ
愛車は Harley-Davidson ultra classic
趣味はボディビル、燻製料理研究

＊横須賀市長選挙で、現職の上地克明氏が3選

6 月 15 日告示、22 日投開票で横須賀市長選挙が行われました。逆風の中、多くの市民の皆様の支持を受け、現職の上地克明氏が再選されました。

上地氏は「福祉の充実」こそ政治・行政の最大の役割と目的であるという信念の基、経済の好循環から生まれる果実を増やし、その財源で福祉・子育て・教育を充実させていく為に「ヨコスカ復活」を掲げて 8 年間市政運営をされてきました。

「海洋都市・横須賀」「個性あるコミュニティー」「スポーツ・音楽・エンターテインメント」の 3 つのグランドデザインを示し、コロナ禍を乗り越えて、人口減少に歯止めがかかり、横須賀市が徐々に元気になってきていることを、私も日々実感しています。この好循環を軌道に乗せる為にも、上地市長に続投してリーダーシップを発揮して欲しいという思いで、応援させて頂きました。

市長と議会チェック＆バランスの関係性が求められます。私も市民の皆さんの声をしっかりと議会に届けて、横須賀市を活性化させていく一翼を担って頑張りますので、なんでもお気軽にご相談ください。



＊横須賀を舞台にした映画「父と僕の終わらない歌」大ヒット！



俳優としてアカデミー主演男優賞、歌手としてレコード大賞を受賞した唯一無二の存在である寺尾聡さんが父親役。

横須賀が舞台になる 2027 年大河ドラマ「逆賊の幕臣」で主人公の小栗上野介を演じる松坂桃李さんが息子役。

主にドブ板通り、ヴェルニー公園、よこすか海岸通りが舞台に使われ、美しいロケーションと横須賀の文化が香る映像です。

かつてレコードデビューを夢見ながらも、家族のためにその夢を諦めた父が、認知症を患いながらも音楽を通じて家族と再び絆を深めていく姿」が描かれた涙あり、笑いありの心温まる素晴らしい作品でした。

全国 No. 1 の興行成績となった横須賀 HUMAX シネマズに、寺尾聡さんが急遽二回も挨拶に訪れて下さいました。

また、7 月から放映中のドラマ「明日はきっと、もっといい日になる」では観音崎の自然博物館を中心に海辺が舞台に使われています。

横須賀が映画やドラマの絵になるロケ地として注目されています。

＊個性あるコミュニティー 天空の廃墟「田浦月見台住宅」まちびらき



(Enjoyworks HP より)

眺望が良く海も見渡せる谷戸の高台に 1960 年に開設された平屋の市営住宅。老朽化し無人となり廃止が決定された後、リノベーションして「ヴィンテージ&クリエイティブなまち」を新たに創造する民官協働プロジェクトが立ち上がりました。募集以上の応募があり、新たなモデルケース・町おこしの参考例として他の自治体からも注目が集まっています。

7 月 6 日に約 30 店による「スターマーケット」が行われ約 600 人が訪れ賑わいを創出。カフェや菓子店など 12 店が正式オープン。

8 月にはサウナも完成し、10 月にグランドオープン予定です。

＊海洋都市・横須賀 浦賀駅前開発の進捗状況

上地市長が「第二の開国」をコンセプトに、横須賀復活の最後のワンピースと称する浦賀駅前周辺地区活性化事業。いよいよ公募の選定が行われています。9 月頃には結果が発表される予定です。

＊三笠公園リニューアルに向けて

全天候型の大屋根広場やカフェ、芝生広場などを新たに整備。財政負担を軽減した上で収益性の確保が見込めるパーク PFI 方式、整備計画と建設を一体化した DB（デザイン&ビルト）方式を採用し、民間資金を導入し、行政コストを抑えながら魅力的な公園空間の再生を目指し、2027 年 3 月末リニューアルオープン予定です。

＊熱中症対策～「ひと涼み運動」「クーリングシェルター（指定暑熱避難施設）」をご存知ですか？

横須賀市では、外出時の暑さを少しでもしのぐ為に、公共施設や協力民間施設（現在 222 施設）で「ひと涼み運動」を実施しています。目印は「白くま」ののぼり旗やタペストリーのある場所で、冷房があり休憩できる椅子などが用意されているので、いざという時には有効利用して下さい。今年の夏は去年を上回る猛暑が予想されますので、熱中症対策をしっかりと。



編集後記 ～横須賀時計塔が新しくなりました～



横須賀市役所前の壊れて針ははずしたまま 10 年が経過していた時計塔がデジタル時計にリニューアルされました。横須賀市は業務の DX 化（デジタル・トランスフォーメーション）先進都市として、全国の自治体に先駆けて 2023 年 4 月に全庁で ChatGPT を導入して業務効率化を推進しています。「効率化で生まれた時間を人にしか出来ない、対面で市民を支える仕事に活用して欲しい」（上地市長談）。

市役所が文字通り「市民の役に立つ所」になるように、市民の皆さんの声を届けていきます。

